



農業士会だより

No.126

新潟県農業士会 第49回 通常総会



会長退任挨拶

長岡ブロック 伊藤 一郎



思う様になりました。

腹を括るように決断して、県会長を経験させて頂いた事で、色々な出逢いや体験が、大きな財産となった2年となりました。

しかし、某感染症の影響で表向きの活動としてはほとんど何も出来なかった2年でもありました。

誰が会長なのか、会員ですら一部の人が知らない超マイナーな会長として、農業士会の歴史に刻まれたような気がします。

一方で、表向きに出来ない事を逆手に取り、裏では大きく改革をした2年となりました。

Youtube配信での農業士EXPO、書類データ化によるメール資料配布、会場に集まる事なく行えるZoom会議、更には農業士会のホームページ作成、それに農業士だよりのWeb閲覧、そしてOBとの交流を深めるゴルフコンペの開催と、今までになかった新しい時代に沿った県農業士会の形を作り上げる事が出来ました。これも一緒にやり遂げた役員の皆様と、各ブロックの県理事のおかげであり、私1人では成し得なかった事です。

感染症や気候変動、戦争の影響もあり、農業情勢が年々厳しくなる中、創意工夫をした営農を行う現農業士の皆様や、卒業された諸先輩方の活躍は新潟県農業の新しい形を次々と作り上げています。また活力ある若手会員も次々と認定され、益々新潟県の農業を盛り上げる新しい形を生み出しています。

そんな誇りと希望に満ちた新潟県農業士会も今年で50年の節目を迎えます。この50年で新潟県農業士は約16000人の会員を数え、縦横の繋がりは盤石なものになっています。

この歴史を途絶える事無く後世に引き継いで次の100年へ新潟県農業を活性化していく組織であり続けますようお願いばかりです。

最後に、拙い会長でありましたが、周りの皆様のおかげで無事2年間勤めあげる事が出来、大変感謝しております。ありがとうございました。

新潟県農業士会が50周年を迎えるというこの節目に、会長という大役を仰せつかりました。重圧に押しつぶされてしまいそうですが、副会長をはじめとする個性あふれる役員一丸となり、農業士会さらには新潟県農業を盛り上げて行けるよう努めてまいります。

コロナ禍で様々な制約が増えた中、新たなイベント開催、交流機会のあり方を模索し、実行していただいた伊藤前会長をはじめとする旧役員の皆様にもこの場を借りて感謝申し上げます。

その旧役員の皆様と共に、11月17日に開催される50周年記念事業を進めていくので心強い限りですし、会員の皆様の協力をいただきながら農業士会の今後へと繋げて行ける事業にしたいと考えております。

農業士会は経営者の集まりです。個々の農業経営はひとつとして同じものがなく多種多様です。コロナ感染のまん延、ロシアによるウクライナ侵攻、燃料、肥料価格の高騰、地球規模の異



会長就任挨拶

十日町ブロック 北村 公太郎



常気象など、経営していく上では、自分の努力だけではどうにもならない事があります。

そんな時に、農業士会の仲間やこれまで交流してきた異業種の方々と、自分の置かれた立場でもっと何かできないか、石油エネルギーに代わるものはないか、捨てているもので肥料として使えるものはないか、新たな市場へと農産物を販売できないか、などと考える場が農業士会にはあると思います。

また、その中から生まれたアイデアを自らの経営に取り入れ、農業を活性化し、地域の発展へと繋げていくためにも、農業士会のネットワークで新たな挑戦をする農業士を応援していける会にできるよう努力します。

意欲ある農業士の探求心をくすぐるイベントや事業を提供することを目標とし、会員同士切磋琢磨を重ねて成長し、明るくて楽しい農業の話題を新潟から日本へ、世界へと広めていきたいと思います。

令和4年新潟県農業士会 役員名簿

役員			理事		ブロック長	
役職名	ブロック	氏 名	ブロック	氏 名	ブロック	氏 名
会 長	十日町	北村 公太郎	村上	遠山 利幸	村上	本間 賢二
副 会 長	新潟	大岩 和正	新発田	小野 晴貴	新発田	荒木 祥史
副 会 長	南魚沼	高野 将広		皆川 洋輔	新潟	佐藤 千城
事 務 局 長	長岡	岩 渕 高雄	新潟	成田 稔雄	巻	鈴木 暁雄
会 計	燕三条	番 場 稔文	巻	伊丹 浩大	新津	鈴木 裕昭
作物部会長	佐 渡	神 蔵 治人	新津	若 月 要	燕三条	須佐 徳人
園芸部会長	南魚沼	今 村 将哉	長岡	金子 健斗	長岡	小原 周市
畜産部会長	新発田	相 馬 成美	柏崎	杵 渕 隆則	柏崎	杵 渕 隆則
作物副会長	上 越	松 野 千恵	魚沼	古田島 正信	魚沼	八 木 慎太郎
園芸副会長	長岡	金 子 悟	上 越	小 島 陽	南魚沼	原 澤 太一
監 事	長岡	伊 藤 一郎	佐 渡	土 屋 智徳	十日町	綱 大 介
監 事	燕三条	山 寄 哲志			上 越	橋 本 惇康
					佐 渡	葛 西 大樹



農業士EXPO 2021 YouTube 新潟県農業士会チャンネル



専門部会では令和3年度の活動として7月15日にアオーレ長岡にて「農業士EXPO2021」を開催しました。本年度につきましても昨年同様、新型コロナウイルスの影響で中止しなければいけないのか、それとも何か別の方法で行うことが出来るのか、専門部会、役員で議論しました。各会員皆様からもアンケートに答えていただき大変貴重なアドバイスや意見を得ることも出来ました。話し合いの結果YouTubeを使って農業士EXPOを行うこととなりました。また協賛をいただいたメーカー様のPR動画もYouTubeの農業士チャンネルに上げる事にしました。テーマは「罠とドローン」です。それぞれのスペースシャリストをお招きして対談を行い、その様子をYouTubeで生配信しながらリアルタイムでコメントに寄せられた質問に答えていくという内容にしました。

一人目の方は妙高市にあるアライドローン代表の荒井良友様です。川瀬作物部会長と対談をしていただきました。会社の説明や最新式のドローンAC101の紹介をしていただきました。肥料、農薬散布を一人で多くの面積を効率よくこなせるようになるなど農作業の効率化を図る事が出来るようになると感じました。

二人目の講師の方は三条市にあるプラスワンスタイル代表の山村則子様です。伊藤会長と対談していただきました。散水ノズルや捕獲器の説明をしていただきました。農業をしていく上で害獣との関係は切っても切り離せません。そんな時に確約するのが捕獲器です。様々な種類があり、適材適所で使うことによって効率よく害獣を捕獲することが出来ます。お二方からは大変貴重なお話を聞くことが出来てとても有意義な時間を過ごせました。

今回は新型コロナウイルスの影響で今までとは全く異なる形で「農業士EXPO」の開催でしたが無事に終えることが出来てよかったと思います。今回のイベントに参加、ご協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。



園芸部会長
伊丹 浩大

2019年に名称が変わり、当時わたしも役員として運営に携わった農業士EXPO。その後、新型コロナウイルスの影響により2020年は中止となりましたが、今年度は開催されると聞き、楽しみにしていましたが、まだまだコロナの影響が残る中、どのような形で開催されるのか不安もありましたが、なんと今回はYouTube生配信というオンライン形式での開催でした。いや、さすがです。

これは良い!と思います。新発田市の某施設内にパブリックビューイング(非公式)を設営し、有志を募り、4人以内で感染症対策を完璧に行うとともに、長時間の配信に対応するべく、炭酸水や食料を配備して万全の体制で配信に臨みました。

まずは川瀬作物部会長とアライドローンの方が今は無き某お昼のテレビ番組の様に対談形式でNTT社製の国産ドローン「AC101」を紹介していく番組でした。多少、付度が見え隠れしましたが、実際にドローンを飛ばしている使用者と販売者が紹介することにより、いかに飛ばす側の立場となり考えられて作られたかがよく伝わってきました。「買ってくれるかな?」「い〇とも!」

次番組は伊藤会長とプラスワンスタイルの美人社長の山村則子様による鳥獣用の罠の紹介でした。昨今農業生産における鳥獣被害は深刻化しており、私の地域でもかなりの圃場がイノシシによる被害を受けました。それを受け、狩猟免許を取得したばかりの私にとっては大変有意義な内容であり、美人社長の一挙手一投足に釘付けになりました。

最後に、このような状況下でも何かできないかと考えて、この楽しい機会を与えてくださった役員の皆様に感謝します。



新発田ブロック
本田 充





作物副部会長
遠山 利幸

青年農業士の役員に就任してから約一年半、コロナウィルスの影響で満足のいく活動は中々出来ず、特に実際に対面して交流するような機会は殆どありませんでした。そんな中今回の収穫感謝祭は総会以外では初めての一般会員や来賓を招待してのイベントになりました。ソーシャルディスタンスや人数制限等の感染対策もありましたが、何とか無事に開催できたことは有難かったです。

今回の講演では小林久さんという山梨県でスーパーを経営されていた方をお招きし、そのスーパーがどうやって成功してなぜ潰れてしまったのか。その一連の話を聞かせていただきました。講演で倒産の実体験を聞く機会は中々無いので非常に貴重でしたし、小林さん自身の明るく楽しい人柄のお陰で大変面白い講演になったと思います。

農業とスーパーという違いはあれど経営者という点では同じであり、小林さんのように地元に着し地元のために経営していても様々な要因でダメになるといえるのは考えさせられるものがあります。それは私達農家も同じで昨今の農業情勢の変化は一経営者として楽観できるものはありません。そんな時代に大事なものはやはり同じ志を持つ仲間なのだと思います。だからこそ今回久々に懇親会まで行い同業者の仲間と交流できたのは大事であり、こういう場を作っていく事が青年農業士の役目の一つなのかなと感じました。先行きが見えない日々が続いていますが、これからも一農業士として仲間との繋がりを大切にしていきたいです。



魚沼ブロック理事
武藤 結翔

今年度の収穫感謝祭は、コロナ禍だからこそできる事を一つのテーマに行いました。現在、そして今後のアフターコロナで農業を生業として行っていく中で、初心にもどろしつかりと学ぶ機会を得るために実施されました。

講演会では、「こうして店は潰れた」地域土着スーパーやまとの教訓を書かれた小林久様に自らの体験談を講演していただきました。

小林様は山梨のローカルスーパーやまとの元代表取締役の方で、先代からの続いていた赤字経営をV字回復させ、その後様々な取り組みを行っていったのですが2017年にやまとが閉店となりました。講演会を通して小林様は経営引継ぎ、周辺企業とのやりとりや競合店との攻勢、どんな事でも諦めないでやってきた話などを、公演中話してくれました。

やまとは開業中に2度の赤字になったと話されました。小林様は銀行を始めあちこちを走り回って店と従業員を守ってきましたが、周りの競合店や地域の高齢化によるお客さんの減少などが続き閉店になりましたが、最後の最後まで諦めずに頑張った話に感銘を受けました。

小林様は講演会の最後に、「どんな弱音を吐いて、周りに助けてもらえばいい」と言っていました。助けてもらって最後に恩返しをすればいい。どんな事をしても会社は潰れてはいけません。潰れても良いことなど一つも無い。私たち青年農業士は同じ業種の仲間なんだから助け合って誇りをもってこれからは頑張りたいと今後の励みになる言葉をいただきました。

私も今後の会社経営、地域農業の発展などをやっていくにあたって、諦めない気持ちと助け合いの心を今後に生かしていきたいと思います。



新認定者歓迎会



長岡ブロック

佐藤 佑美

令和3年度 新認定を受けての抱負

課題山積の農業界。向かい風買った中で新認定を受け、農業士として新潟農業の一遍を担っていくという道はやりがい溢れているように感じています。私は農業に出会って12年、就農して8年目です。非農家出身で田んぼのあぜ道を歩いたことがないまま東京に進学しました。初めて農業に触れたのは20歳の時です。「土が汚い」とうっかり発言し怒られながらも、何故か田んぼや畑に立っている人がカッコ良く見えて仕方なかった。というのが私と農業との始まりです。今思えば、農業を取り巻く地域の人々や祭事、食文化、面倒な会議、一緒に酒を飲む時間が人間味を濃く映し出していて、私にはそれが魅力的に映ったのでした。どう頑張ってもその人らしさがでる「農業」。そこに感じる「人間味」。そんな農業人の一員としていられる事が幸せです。だからこそ大好きな農業がこれからも希望を持って続けられるよう、奮闘しながら私のできる事で貢献していきたいと思ひ農業士の仲間入りをさせて頂きました。私の得意な事は0→1のチャレンジです。まだまだ未熟者ですが、先輩農業士の皆様から学びながらありますが、皆さまと一緒に新潟農業を盛り上げて行けたらと思います。



新津ブロック

橋本 友哉

令和3年度 新認定を受けての抱負

このたび、青年農業士に認定されました新潟市秋葉区の橋元友哉と申します。私は10年前に新規就農で養蜂を始めました。現在は下越地区を中心に500箱のミツバチを育てながらハチミツの生産や花粉交配用のミツバチの出荷をおこなっています。私がやっている養蜂は同業者が少なく、人がいない場所で作業する事も多いので人と接する事が極端に少ない業種です。その為これまで限られたコミュニティの中で交流し出来ていました。そんな時に青年農業士のお話を頂き様々な方と交流出来る農業士会に入会出来た事を大変嬉しく思います。その様な経験から農業士会では多くの先輩農業者や異業種の方々と交流を深めていきたいと思っています。今までの自分とは違う考えや技術に触れ、自分自身の成長に繋げて行きたいと思っています。その中で得た知識や経験をもちに地域貢献や今後の経営の発展に繋げていきたいと思っています。まだまだ未熟な面もございますが、今後お会いする機会がありましたらご指導宜しくお願い致します。



畜産部会長

澤口 晋

新認定歓迎会と総会を終えて

この二日間、新型コロナウイルスに会の運営方法がまるで違う状況に変えさせられ、会長をはじめ役員の一員としていろいろな意見や案を出しあいが進められました。そんななかこの会に参加することの意義を総会からの新認定歓迎会、懇親会のなかでみんなが口をそろえたように言っていたのは「仲間作り」と言っていました。私は、ずっと県の会には参加して来なかったのですが今回、畜産部会長として参加させていただき本当にそう思いました。懇親会では、デューク・スマートさんによる利き酒大会やお酒の飲み方のレクチャーなどがあり大いに盛り上がりしました。残念ながらハンドルのキーパーでお酒を楽しむことが出来ませんでしたが、いろいろな人と話をしたり、久しぶりの宴会メニューを頂いたりといった二時間の二日間でした。お土産にコシヒカリで作ったお酒を頂き後日楽しませて頂きました。三役をはじめ役員の方々の努力が実を結びかのように盛大に懇親会が行なえた事に感謝いたします。また、今年は50周年という大きな節目の年になります。新旧役員一丸となって来る11月に向け大いに盛り上げて行きたいと思ひますので、皆さんご協力をお願いします。



南魚沼ブロック

高野 将宏

新認定歓迎会に参加して

3月14日ホワイトデー、バレンタインのお返しをどの様に渡そうか気分が高ぶるこの日に新たに12名の仲間が新潟県農業士会に増えました。全員の出席は叶いませんでしたが、認定式に参加された皆さんからは緊張とこれから農業士会に参加してどの様に農業を楽しんでいくか、レベルアップしていくかという意気込みが感じられました。かく言う当時の私は、新認定会には参加せず他の事に意識が向いていたため認定式に参加しなかった事に少し後悔があります。そんな私も令和4年度からは副会長という重要な役に就くことになり気が引き締まります。

新認定歓迎会の中で講演をしていただいた十日町ブロックの島田福徳さん、NPO法人 SAKURA代表のデューク・スマートさん。

このお二人の講演を聞いて感じ、農業を営んでいく流れの中でがむしゃらに突き進み尖りに尖り色々な知識・経験を得る時期から年齢を重ね経営側に参加しどの様に考えるのかの様に行動しどうやって家族・会社・地域の仲間・取引先に自分の考えを伝え表現し、農業を営むという事の大変さ、楽しさを考える事ができる時間だった。そろそろ尖るだけではなく今まで得てきた知識・経験を柔軟に生かして自社の経営、地域との繋がり、農業士会の運営を楽しんで行きたいと思ひます。

ちなみに歓迎会の日本酒好きで日本酒の美味さに再度感動し、次の日より毎日何らかの日本酒を楽しんでいます。

令和3年度 新加入者名簿

ブロック	氏名
新発田	榎本 智彦
新潟	浅田 将希
新潟	浅田 雄太
新潟	鈴木 雄太
新潟	虎澤 智哉
新潟	橋本 友哉
新潟	大湊 隆史
巻	矢部 大輔
巻	武井 裕亮
燕三条	平田 佑美
長岡	佐藤 大輔
長岡	平澤 大輔
南魚沼	小野塚 智朗



新潟県農業士会 第49回通常総会 議事録

日時 令和4年3月14日（月曜日）
14時から15時30分まで
場所 ANAクラウンプラザホテル新潟

1 総会成立宣言
代議員数46名、出席代議員数14名、委任状31名、計45名。よって総会が成立すると事務局長梅沢より報告。

2 会長挨拶
伊藤会長より始めに総会が開催されたことの感謝の言葉があり、世界情勢でコロナの影響やウクライナの戦争で燃料高騰など農業にも影響が出てくる中でも新潟県農業士会、若い世代がこれからの日本の農業を支えていく礎を担っている。会長指名を受けた時度コロナが始まったばかりでこれからどうなっていくのか心配になっていた。

役員会でも人が集まらない会議がほとんどであり、コロナ禍で新しいZOOMでの会議のという形が取れることに気づいた年でもありそれにより違う予算の使い方や、今後会員数が減って会費が減る中どうやって運営をしていくか問題の改善になるかなという事を見つけた2年間でもあった。

次年度から新役員になり50周年を迎える年でもあります。50周年の実行委員という大仕事が残っていますが次の世代に引き継いでいくように頑張っていきたいと思っています。これから皆さんも若い世代にどんどん受け継いでいく、農業はかっこいいとかこれから農業を引っ張っていく事を皆さんが見本となって次につなげていく農業士なってもらいたいとおもいます。皆様に終わった後によかったと思える総会にしたいという思いをもとに会長挨拶を結んだ。

3 来賓挨拶

経営普及課課長佐藤一志様の代理として経営普及課副参事白崎雅人様より挨拶を頂戴した。コロナ禍のため年ごおり活動ができないうち、YouTube等を使った農業士EXPOの開催や収穫感謝祭などの限られた状況下でも新たな事に果敢に挑戦されてきた。付加価値の高い持続可能な農業の実現を目指していただくために皆様の若い感性と、柔軟な発想が必要不可欠なので引き続き協力してほしいと祝辞の言葉をいただいた。



新潟県農業士会 第49回 通常総会

4 議長、書記、議事録署名人の選出
選任意見がなく司会より事務局長梅沢が提案され意義がなかったため、事務局長梅沢より次の会員をそれぞれ指名した。

議長…巻B 河治 勇輔
書記…佐渡B 土屋 智徳
議事録署名人
…新津B 鈴木 裕昭
…上越B 大滝 和弘

5 第1号議案
議事に先立ち執行部より令和3年度新潟県農業士会一般会計収支決算所に第2号議案の記載が漏れていたの訂正があった。
第1号議案として令和3年度事業活動報告を行った。事務局長 梅沢より事業活動報告を行った。※総会議案書参照

第1号議案について議長河治より質問・意見がないか会員へ問われた。
Q・新発田B本間より、Facebookページのアプリクリニックがコロナの関係で引き継ぎが不十分なところもあったが今年度運営がされたいないように感じたのと今後きちんとしてほしい。と意見
A・ただFacebookページだけ引き継いだと思っていたがアプリクリニックの存在分らなかった年度は変わるが引き継いでいてもらいたい。と回答
ほかに質問・意見がなかったので拍手をもって原案どおり承認された。

第2号議案

第2号議案として会計 荒川より令和3年度収支決算の報告があった。比較増減、適用の順に報告があり、続いて特別会計収支決算について報告があった。※総会議案書参照

監査報告

監事 永塚より監査報告 ※総会議案書参照
第2号議案について質問・意見がないか議長河治より会員に問われた
Q・十日町B島田より 令和3年特別会計収支

報告で本来だったら集まっている金額が不足していると思うのだが、不足している分は50周年事業をどのように運営するのかと質問
A・特別会計に関しては勘違いしているのではと指摘、又不足分に對して役員の中では本会の卒業生や農業士EXPOなどに参加していただいた企業へ花火の打ち上げの協賛金を考えている。と回答
他に質問・意見がなかったので拍手をもって原案どおり承認された。

第3号議案

第3号議案役員改選について伊藤会長より本来であれば本総会時に互選会がありそこで役員が決めるのだが、本来次期役員が決めるべき次年度計画等が事前決められている事が違和感としてあり、それを変えられないかと思われの結果として本総会前に次期役員を決めその役員が次年度計画等を決めて報告をしようという説明。

伊藤会長説明後に事務局長梅沢より次期役員の事前の互選会書面決議に名の新理事16名中11名賛成、代議員46名中32名の賛成によって承認されたとの報告があった後に、次期役員の報告がされた。 ※総会議案書参照

第3号議案は書面決議において承認されているので質問・意見を求めず次の議案に進んだ。

第4号議案

1. 令和4年度活動目標案を次期会長北村が議案書に沿って読み上げた。
※総会議案書参照
2. 令和4年度事業計画案を次期事務局岩淵が議案書に沿って読み上げた。
※総会議案書参照
3. 令和4年度一般会計予算(案)を次期会計番場が議案書に沿って読み上げた。
※総会議案書参照

第4号議案について議長河治より質問・意見がないか会員へ問われた。
Q・上越B 大滝より一般会計予算で収穫感謝祭の摘要欄に50周年式典諸費用とあるが50周年式典と収穫感謝祭は合同で行われると捉えてよいのか。次に次年度計画に異業種交流の項目がないが一般会計にある



異業種交流費はどの様なものなのか。と質問
A・50周年記念式典は現行で収穫感謝祭と合同で行う事を計画していますとの回答。次の質問に次年度計画には載っていないが出来たら次年度異業種との交流も持ちたいので予算と組んでいる。と回答

Q・巻B 河治より前期2年間コロナの影響で他のブロック長の顔が判らないという事があったので初年度の早期の理事会・役員会にブロック長も呼んでほしい。と要望
A・検討します。と回答補足として副会長 加藤より令和4年度から農業士会だよりを今後ホームページに載せて発行という形をとりたいと提案があった。

補足の提案について議長河治より質問・意見がないか会員へ問われた。
Q・十日町B 島田より農業士会だよりをHP上に挙げるのはいいのだけれどどこだけHPにアクセスしてそれを見られるのか？HPアクセス数を上げるフォローも考えてほしい。と要望
A・新役員と協議して今後対応していきたい。と回答

Q・監事 永塚よりHPの維持に実質どれ位かかるのか。農業士会だよりをHPに載せるのとこのことが士会だよりは議事録も載せるのだが、議事録を載せてよいものなのか。と質問
A・HP年間維持費は2万4千円(税別)と回答。HPに農業士会だよりを載せることについては賛否があったが予算とかの数字が余り出ない事と、紙媒体でも多数の人にみられる状態であり、紙媒体でも多数の人にみられる問題ないのかと判断した。又HPに載せることによって見てくれた人に見たままに県青年農業士の人の議論に関心をもちてもらえれば。と回答
他に質問・意見がなかったので拍手をもって原案どおり承認された。

第5号議案

第5号議案会費の賦課額及び徴収方法(案)について次期会計番より場議案書に沿って読み上げた。※総会議案書参照
納入先については第1回理事会の折理事を通して報告します。期限の関しては7月末までにお願いします。と説明があった。



第49回 通常総会

第5号議案について質問・意見がないか議長河治より会員に問われ、なかったため拍手をもって原案どおり承認された。

第6号議案

第6号議案規約改正として会長伊藤より規約改正の内容の説明があった。※総会議案書参照

最近女性会員が増えてきました。今後女性会員が入ってきたときに女性には限らないが出産や育児に専念する年が出てくると思うので、その時も活動がでないのに会費を払うのは、なかなかという意見が前回の総会の時に出ていたの、今年1年協議してみた結果1年間休会という形をとれるようにしたいとの説明があった。

第6号議案について議長河治より質問・意見がないか会員へ問われた。

Q・新発田B本日より休会届はHPからダウンロードすることが出来るか。質問

A・前向きに検討します。回答

他に質問・意見がなかったため拍手をもって原案どおり承認された。

全ての議案が承認され最後に質問・意見がないか議長河治より会員へ問われた。

Q・新潟B成田より第3号議案について役員改選は規約上書面決議可能になっていないのが現状だが今後役員改選の規約を変えることがあるのか。質問

A・今後ZOOMなどの会議が理事会などで承認されれば書面決議可能という事が去年の総会で承認されていてそこについて詳しく書面に記載されてなく不明瞭であった。今後は次期役員と協議・精査して電子書面や書面決議等も可という表記を次年度の規約改正に追記したい。と回答

Q・新津B鈴木より事務局の所在地が会長宅となっているが今回の改選で事務局の場所が変わるのか、それに伴って役員改選で各Bから執行部が選出されてはいるがその選考にどのような過程があったのか。と質問

A・事務局は新会長宅に変わると回答、執行部選出についてはこれという意図はない。と回答



第2回農業士会ゴルフコンペ

農業士ゴルフコンペ終え

「晴耕雨読」嫌いな言葉。これは正しい余生の過ごし方として提唱されたものだ。ある有名な小児科医がインタビューの中で小さい子供のオベは大変ですよ、という質問に、「相手が小さいならば、倍率をあげて行えば変わらない」と答えたことがとても印象に残っている。農家たるもの雨の日には雨の中を、風の日には風の中を！装備を整え、普段通りに過ごすことが正しいと考えている(笑)

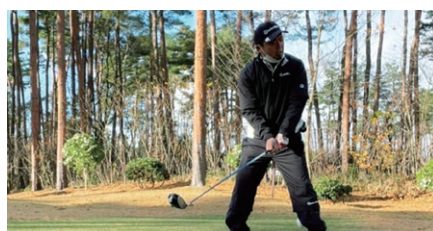
農業士ゴルフコンペ当日、これまで経験したことのない悪天候の中行われた。雨具と防寒具に身を包み、少しの晴れ間に歓喜し、高く上がったボールは、どんな風に流され林へ！そんな状況のなか、1人は笑い、1人は落胆し、1人は他の誰かと話しボールの行方など気にしていない、そんな雰囲気だ笑いの絶えない時間を過ごした2021年11月末。年の瀬。

共通の趣味、共通の仕事、これ以上ない関係性のなかで、世代を越え話題は尽きず、学ぶことの多い時間はとても貴重だ。そんな機会を与えてもらえたことを心から感謝している。恥の多い人生と考えているが、新ペリア方式(スコアに関係なく誰でも優勝するチャンスがあるハンデ戦)ということもあり、今回優勝となったが、まっこと不甲斐ない(笑)。これを機に練習を重ねている次第だが、仕事も家庭も趣味も全力で行うことをここに誓う。今期50周年と聞いており、40周年を手掛けたことが懐かしい。新潟県の中核を担い、これからの激動の時代を共に過ごす仲間たちと、出会えるこの会の今後のさらなるご活躍を祈る。



ひうら農場

樋浦 幸彦



野良

燕三条ブロック 山崎 哲志



今考えると2020年まさに恐怖の大王が下りたようにも感じられました。新型コロナウイルス感染拡大から早2年が経とうとしております。我々が乗った農業士という船も世界と同じ荒波に揉まれた2年間だったと思います。まずは船長の伊藤会長お疲れ様でした。

このコロナ禍では、多くの主査選抜を迫られる時を我々も過ごしてきました。会の長である伊藤君にとってもとても大変な2年間だったと思います。

2020年から、農業士としては事業の改善や役員会の形が新しくさせて頂きました。多くの方に見て頂けるように、参加しやすいように、また今後続く候補の方にも見てもらえるように行ってきました。

2021年はさらに加速したコロナ禍であり、コロナ拡大とどう進んでいくかというなかでホームページやコロナ禍だからその講演などを実施してまいりました。動画サイトやSNS、発信の場所も増え、会員の皆さんにも実際体験してもらい、そこからそれぞれの農業に持ち帰るものも出来たのではないのでしょうか。

そして2022年度は50周年が開催されます。きつと多くの会員が在籍していたことに胸を張れるという団体だったと思える周年式典になるのではないかと考えております。この2年間で多くの皆さんにご迷惑をかけた指導いただきました。本当のありがとうございます。さらなる会の発展に期待しております。

感謝状贈呈者（敬称略）

ブロック	氏名
新発田	吉川 清和
新発田	中島 善洋
新発田	花野 矢一郎
新潟	小泉 貴之
新潟	朝妻 圭一
巻	清水 徳博
巻	清河 治輔
新潟	津部 祥治
新潟	瀬倉 英晃
三条	飯塚 正司
三条	武田 芳謙
長岡	満保 健太郎
長岡	駒村 健太郎
長岡	綱島 健太郎
魚沼	沼田 国広
南魚沼	鈴原 崇



新潟県農業士会 第49回 通常総会



編集後記

この役員最後の1年間思う事は、役員理事の皆さんのおかげで無事に役員を務められた事だと思います。そして、農業士だよりで写真と文章を提供して頂いた皆様には感謝しかありません。本当にありがとうございました。

写真右側のデューケット智美さんとは出会って3年、これまでに4度イベントにお呼びしお越し頂きました。新認定歓迎会での懇親会では利き酒大会を企画してもらい大変盛り上げて頂きました。会員の皆さんとももちろんの事ですが、異業種の方との交流ができるのも農業士会に居たからこそだと思います。農業士会での経験や出会いは、先代の皆様が言うように財産になると思えるようになりました。

「なぜば成る なさねば成らぬ何事も」とありますが、何においてもそうだと思いますが役員をして感じた事のひとつでした。

最後になりますが、この2年間イベントに参加協力していただいた会員の皆様、並びに関係機関、関係団体様に感謝の気持ちを込めて私の編集後記とさせて頂きます。今後とも農業士会をよろしく願います。

（副会長 加藤 喜一郎）

発行所：新潟県農業士会

会長 北村 公太郎

電話 〇九〇―

二三二五―七六六九

印刷：和光印刷(株)

新潟市西区小針一―二一八

電話 〇二五―

二三三―八三三八